

持続可能な調達の推進

基本的な考え方

シチズングループでは、「サステナブル経営」の重要な柱のひとつとして、自社工場だけでなくその製造プロセスにも配慮した「サステナブルファクトリー」というコンセプトを掲げています。これは、お取引先様も含めたバリューチェーン全体を持続可能な「ファクトリー」にしていこうというものです。そして「サステナブルファクトリー」で生産される

「サステナブルプロダクツ」を社会に提供していくことが、もうひとつの柱です。こうしたことの実現のためには、バリューチェーンの上流の要となるお取引先様と協働して、コンプライアンスや人権、労働慣行、BCP、生産性向上等に総合的に配慮した、持続可能な調達の実践と生産体制の整備を行うことが不可欠です。

持続可能な調達の実現への取り組み

シチズングループでは、グループが目指す「サステナブル経営」の大きな柱である持続可能な調達を実践していくため、2020年4月に、グループ全体のサプライチェーン管理を統括する「グループ持続可能な調達委員会」を、サステナビリティ委員会の下部委員会として新設しました。更に、同年に「シチズングループ CSR 調達ガイドライン」を第2版に改定しました。改定されたガイドラインは、従来から実施していたグリーン調達や紛争鉱物への対応といった要素に加えて、国連グローバルコンパクト等の国際的な規範、社会や外部のステークホルダーからの要請、環境への配慮のほか、人権や労働慣行といった幅広い社会課題に対するシチズングループの姿勢を反映しています。

2020年度は、持続可能な調達を推進するための体制・ガイドラインの整備とともに、シチズングループが目指す持続可能な調達についてグループ内での認識を統一するため、国内全従業員を対象としたeラーニングを行いました。具体的には、調達活動において留意すべき社会課題やリスク、持続可能な調達と「サステナブルファクトリー」・「サステナブルプロダクツ」との繋がり、お取引先様であるサプライヤーの協力のもとサプライチェーン全体での連携の必要性といった内容となります。また、調達業務

に関わる部門の従業員に対しては、更に研修や学習の機会を設けています。

新型コロナの拡大の影響もあり、お取引先様に対しては、中国と日本を対象に動画の配信による説明会を行いました。動画では、シチズン時計の社長からのメッセージや、シチズングループにおけるSDGs達成に向けた取り組み等を説明するとともに、持続可能な調達に対する考えと、その協力をお願いします。2020年度は、主要なお取引先様の約67%にあたる約2,440社に対して、動画による説明会を実施するとともに、CSR調達ガイドラインに則したSAQやグリーン調達・紛争鉱物の調査表を送付し、その調達におけるCSRへの取り組み状況を確認しています。

更に、調達におけるリスクや企業が取り組むべき課題は常に変化するため、年2回開催している持続可能な調達委員会では、外部の有識者を招き勉強会を実施しています。2020年度は紛争鉱物をテーマとして、世界的にもサプライチェーンに関する取り組みが進んでいる欧米等の潮流について学びました。勉強会の内容は、委員会に参加しているグループ各社の調達を担当する部門を通じて、各社の取り組みに活用されています。

お取引先様と一体となった持続可能な調達の推進

お取引先様におけるCSRへの取り組みを詳細に調査し、サプライチェーン上のリスクを特定するため、シチズングループでは、SAQ等をもとにした「実態調査チェックシート」を作成し、お取引先様の実態調査を実施しています。2020年度は、新型コロナの影響のため、SAQを送付したお取引先様から選定した8社に対してリモートでの実態調査を行いました。実態調査の結果、お取引先様における重大なリスクや是正措置の必要性等は見られませんでした。SAQや実態調査の実施においては、一方的な送付に留まらず、回答が難しいお取引先様に対しては、その支援等も行い、信頼関係の構築に努めています。

また、シチズングループでは、CSR全般の取り組みとともに、武装勢力への資金提供や人権侵害のリスクがある紛争鉱物についても、調達上の重要な

リスクとして認識しています。そのため、シチズングループの紛争鉱物に対する考えと、その排除への姿勢を示すため、国際的なガイドライン等を参照し、既存の紛争鉱物対応方針を「シチズングループ責任ある鉱物調達方針」に改定しました。同方針の改定にあたっては、対象とする鉱物と調達地域の拡大、およびリスクを確認した際の対応等を明確にしています。対象となる鉱物を調達しているお取引先様とともに、シチズングループ自身もサプライヤーの立場として、紛争鉱物の排除に取り組んでいます。

シチズングループの紛争鉱物への取り組みの詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.citizen.co.jp/social/materiality/sourcing/partner/>



リモートによる実態調査の様子

今後の展望

シチズングループでは、2019年度からお取引先様に対する実態調査を開始し、その実績を積み重ねてきました。2020年度は新型コロナの影響により、海外のお取引先様への訪問や対面での実態調査は叶いませんでした。リモートでのノウハウの蓄積により、場所を選ばない効率的な調査や実態調査の

方法も確立しつつあります。お取引先様との積極的なコミュニケーションによる信頼・協力関係を構築しつつ、状況の変化に応じて、リモートと対面を組み合わせた、効率的な実態調査の仕組みや体制づくりを進めていきます。